

News Release



株式会社 日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency, Ltd.

25-D-1228

2025年12月1日

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社ミライト・ワン（証券コード：1417）

【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+

■格付事由

- (1) 通信工事大手3グループの一角。通信工事を行う通信基盤ドメインと企業/環境社会基盤ドメインがあり、前者はNTT事業とマルチキャリア事業に区分され、後者は環境・社会イノベーション事業（土木・建築工事、電気・空調・水道工事など）とICTソリューション事業（ICTインフラの構築、ソフトウェア、グローバルなど）に区分される。事業基盤の強化のためにM&Aを進めており、22年3月に西武建設、23年12月に国際航業を連結子会社化している。
- (2) 近年、通信キャリアによる投資抑制や不採算案件などの影響を受けていたが、業績は回復している。当面、通信基盤ドメインにおいて、特定キャリアによる品質改善に関わる工事の継続的な受注が予想されるほか、企業/環境社会基盤ドメインでも、データセンター関連などの堅調な需要が見込まれる。また、比較的規模の大きい上記2社の買収をしたが、自己資本比率は50%程度を維持している。今後も成長投資や株主還元の強化が見込まれるが、中期的なキャッシュフロー見通しを考慮すれば、財務健全性の維持は可能と考えられる。以上から、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- (3) 26/3期の営業利益は340億円（前期比21.5%増）の計画であり、2期連続の増益が予想される。期初段階から繰越工事高の水準が高く、工事の順調な消化が続いていると考えられる。27/3期についても、安定した業績となる見通しである。特定キャリア以外の通信キャリアの投資動向には留意を要するものの、それをおおむね堅調な受注が見込まれる。
- (4) 財務健全性に関する指標は良好である。25/3期末の自己資本比率は48.6%（前期末：48.5%）であり、横ばいで推移した。上記2社の買収により、のれんや顧客関連資産が700億円程度まで増加しているが、自己資本（25/3期末：2,615億円）の範囲内に十分収まっている。また、環境・社会イノベーション事業における工事の大型化などによる一時的な資金負担によって、有利子負債の増加がみられる。ただし、発注者の与信面に特段の懸念はなく、工事進行にともない資金回収が順調に進むと考えられる。

（担当）大塚 浩芳・下田 泰弘

■格付対象

発行体：株式会社ミライト・ワン

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	250億円	2024年9月12日	2029年9月12日	0.910%	A+
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2024年9月12日	2031年9月12日	1.175%	A+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025年11月26日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武
主任格付アナリスト：大塚 浩芳
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社ミライト・ワン
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関するJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると暗示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他の責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関するものではありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回することができます。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っています。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル